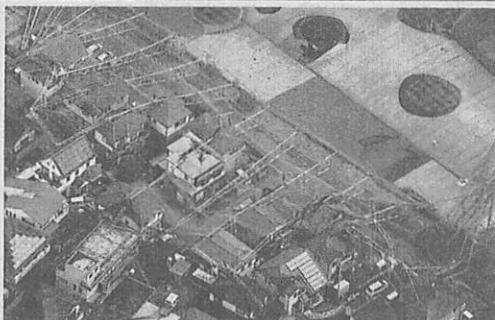
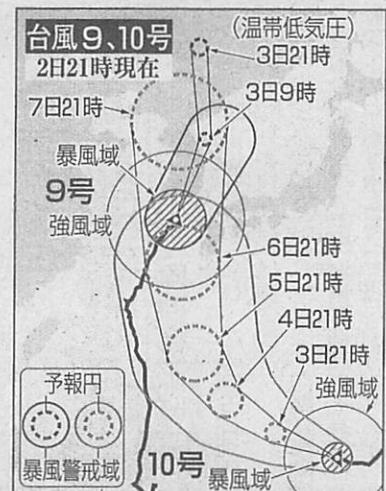


本製品の不買運動など、韓国による理不尽な反日姿勢で冷え切っている日本韓関係。「ポスト安倍」について韓国政府やメデイアは、誰が望ましいと考えているのだろうか。



# 9号に続き接近 台風10号脅威

九州や沖縄を襲った台風9号に続き、台風10号にも最大限の警戒が必要だ。一過去最強級の勢力で6～7日にかけて奄美から西日本に接近、上陸の恐れがある。気象庁は中心気圧930ヘクタール以下

下、最大風速50m/s以上の大風速に発達する特別警報級に恐れがあるとしている。台風10号は3日前午後6時現在、日本の南海上を時速約20kmで西北西に進んだ。中心気圧は975ト低気圧、最大風速は35m/s、最大瞬間風速は50m/s。今後、日本に上陸・通過時には、甚大な被害をもたらした1959年の伊勢

昨年9月の台風15号では、千葉県市原市のゴルフ練習場が倒壊するなど大きな被害が出た

を下げるため、この海域を通過する台風は、ますます勢力が強くなるだろ  
う」とみる。

海水温上昇…上陸する直前まで発達

「過去に日本に上陸した最強勢力の台風に匹敵するかもしない」と語るのは、横浜国立大教授の筆保弘徳氏（気象学）。「日本近海の海面水温が、平年差でみても2度ほど高くなっている

禁物だ。筆保氏  
通過によって、  
混せられて海面  
いったん下がる  
の日が続けば再び  
ともある。千葉縣  
た昨年の台風15号

も油断は  
は一台風  
海はかき  
の水温は  
が、晴れ  
が戻るこ  
県を襲つ  
15号の後

伊勢湾台風や第2室戸台風（61年）当時と比べると治水対策が進む一方で、別のリスクもあると。」「高度経済成長期以降に都市部に人口が集中し、かつては経験則で

(日本時  
米利大)

# 夕刊M

「伊勢湾」級  
今後も相次ぐ恐れ

合、「基本的姿勢に変化はないだろう」、岸田文雄政調合食長は「安倍氏」比べると歴史問題など少し柔軟な場合もある」と予測した。

一方、石破茂元幹事長については「アジア外交全般に対する基本的姿勢の変換を期待する余地が残っている」と期待感をのぞかせている。

2017年5月の東亜日報が、慰安婦問題をめぐつて「（韓国で）納得を得るまで（日本は）謝罪するしかない」と述べたとするインタビュー記事を掲載。石破氏は発言を否定した。

勢を貫いた安倍首相は「反対の立場」ということになると、背景にある。ただ日本側は韓国側において、すべての関係において、すべての問題において、大統領が変わるのであれば日韓関係は改善するかもしれないが、誰が日本を代表するかの首相でも韓国の反日姿勢に変わりはないだろう」と分析した。

やはり誤嚥は侮れなかつた。先月29日、誤嚥による嘔吐で救急搬送され入院した歌手で俳優、加山雄三(83)が、誤嚥でせき込んだため、軽度の小脳出血を発症していたのだ。当面の芸能活動を自粛することになった。

加山は先月29日夜、自宅で水を飲んだ後、誤嚥

を起こして嘔吐。その際  
にせき込んだことで小脳



# メジャー速報

**ダル  
月間  
M**

都内の病院に

古谷一行は